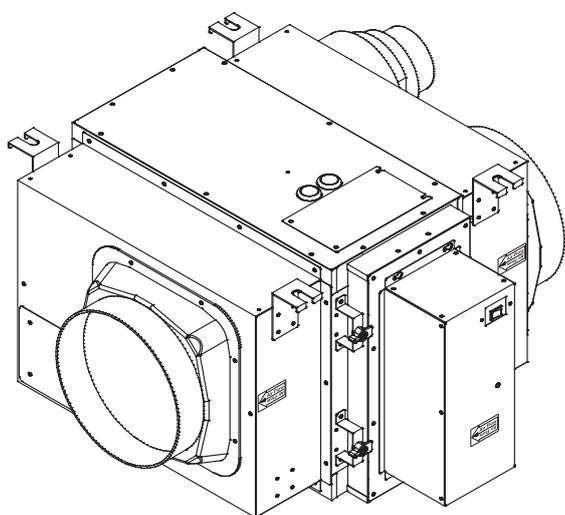




施工業者様用

電子式全館空気清浄ユニット DCM113J



●この製品の性能と安全性を確保するために、この据付工事説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく据え付けてください。

●この製品の配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。

●この説明書に出てくる **⚠** 警告・**⚠** 注意・**<**据付工事上のご注意**>**は、据付工事をする上で重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 付属品の確認	4
3. 各部のなまえと寸法	5
4. 組み立て	6
1. 吸込みチャンバーの取り付け	6
2. 排気チャンバーの取り付け	8
5. 据付場所の確認	10
6. 据付工事のしかた	11
1. 電源コードの接続	11
2. 上吊り設置の場合	13
3. 床置き設置の場合	15
4. ダクトの接続	17
5. 埋込表示スイッチの施工と結線	18
7. 試運転前の準備と試運転	19
1. 電子式集塵フィルタの取り出し確認	19
2. 試運転	21
3. 埋込表示スイッチのランプ表示の確認	22
8. 天井点検口の場合の取り付け寸法	23
9. 引き渡し	24

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

ここに示した注意事項は、据付工事をする人やお使いになる人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたい内容を記載しています。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

絵表示の意味について

 <p>必ず指示に従ってください。</p>	 <p>分解しないでください。</p> <p>分解禁止</p>	 <p>必ずアース線を接続してください。</p> <p>アース線接続</p>
 <p>絶対に行わないでください。</p> <p>禁止</p>	 <p>触れないでください。</p> <p>接触禁止</p>	

警告



禁止

次の場所には設置しないでください。

- ・可燃性ガス、引火性ガス、爆発性ガス、腐食性ガスのある場所。
- ・可燃性粉じん、導電性粉じんのある場所。
- ・「火気厳禁」と指定されている場所。
- ・オイルミストの発生する場所。
- ・金属製のほこりが発生する場所。
- ・水蒸気の発生する場所。
- ・雨水や水などが、かかるおそれのある場所。
- ・据付強度の低い建物。
- ・燃えやすいものの近く。
- ・塩分のある場所。

このような場所に設置すると、火災・感電のおそれがあります。



電源は交流 100V で使用してください。

火災・感電・けがのおそれがあります。



禁止

本製品の据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。

転落やけがのおそれがあります。



禁止

本製品や配線に水をかけないでください。

火災・感電・けがのおそれがあります。



本製品の配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。

火災・感電のおそれがあります。



接触禁止

ぬれた手で本製品の主電源スイッチや電源線に触れないでください。

火災・感電・けがのおそれがあります。



禁止

アースを、ガス管・避雷針・電話線・水道管などに接続しないでください。

火災・感電・落雷・爆発のおそれがあります。



アースをD種設置工事に基づいて確実に取り付けしてください。

火災・感電のおそれがあります。



分解禁止

分解や修理・改造は絶対にしないでください。

火災・感電のおそれがあります。



電源接続は確実に行ってください。

火災・感電・けがのおそれがあります。



禁止

吸込口のそばで、可燃性ガスを使用したスプレーを使わないでください。

火災・やけど・けがのおそれがあります。



長期間使用しないときは、必ず分電盤ブレーカーを切ってください。

絶縁劣化による火災や漏電・感電のおそれがあります。



据付工事の際は、必ず主電源スイッチを切ってください。

感電・けがのおそれがあります。



禁止

電子式集塵フィルタを外して使用しないでください。

製品内部に異物が入り、火災・感電・けがのおそれがあります。



据付工事の際は、指輪・ブレスレット・腕時計・ネックレスなど装身具を外してください。

感電・けがのおそれがあります。



異常や異音・異臭が発生したときは、直ちに使用を中止してください。

火災・感電・けがのおそれがあります。



禁止

引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナーなど）を本製品の近くに置かないでください。

火災・やけど・けがのおそれがあります。



禁止

吸込口や吹出口に異物を入れないでください。

液体・粉末状のもの・金属片などの異物を入れないでください。

火災・感電のおそれがあります。



禁止

下記の使用条件を超える地域、環境には取り付けしないでください。

・通気気流温度

4～50℃

・設置周囲温度

0～40℃

・許容湿度

80%RH ※ただし結露なきこと

火災・感電のおそれがあります。



禁止

本製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。

ラベルには、安全上の注意が記載されていますので、これをはがしてしまうと、火災・感電・けがのおそれがあります。

1. 安全上のご注意のつづき

警告



据付工事の際は、必ず全館空調の運転を停止してください。

感電・けがのおそれがあります。



据付工事の際は、メンテパネル・フィルタ等を落下させないでください。

火災・感電・けがのおそれがあります。

注意



据付工事の際にメンテパネル・フィルタ等に指を入れないでください。

けがのおそれがあります。



禁止

本製品の近くに精密機器を置かないでください。

精密機器の故障のおそれがあります。

お願い

吸込口や吹出口を、ものでふさがないでください。

集じん効果が低くなり、故障・破損の原因になります。

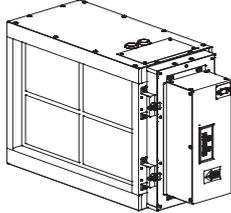
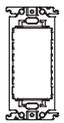
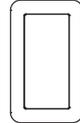
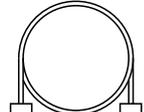
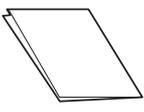
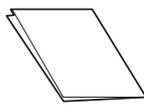
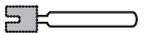
2 付属品の確認

梱包を開いたら、下記の部品数や部品の変形・欠損がないか確認してください。

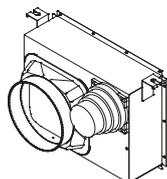
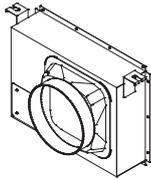
⚠ 注意

万一、部品に変形や欠損があったときは、そのまま使用しないでください。
事故を引き起こす原因になります。

DCM113J 梱包

部品の種類			個数
電子式全館空気清浄 ユニット本体 			1
埋込表示スイッチ       スイッチフェース×1 スイッチ×1 スイッチハンドル×1 取付枠×1 スイッチフェース(化粧プレート×1)(プレート枠×1) はさみ金具(はさみ金具×1)(ボックスねじ×2)			1 本体の梱包にこちらの埋込表示スイッチが同梱されています。
スイッチ中継ハーネス(10m) ×1 	据付工事説明書(本冊子) 	取扱説明書/保証書 	お手入れブラシ ×1 (取扱説明書に同梱) 

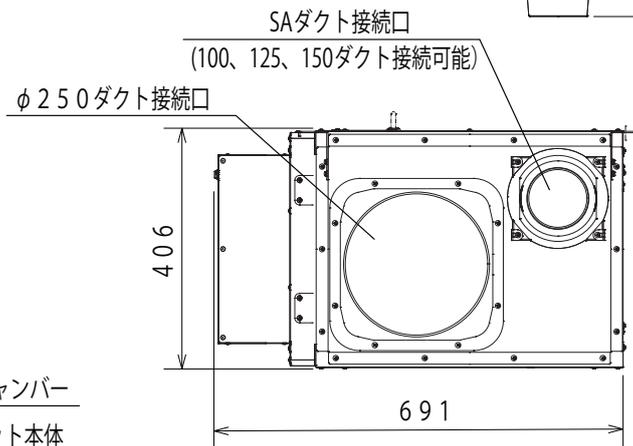
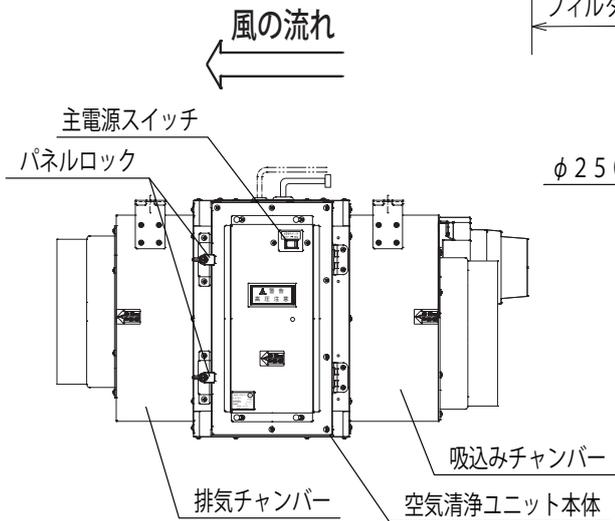
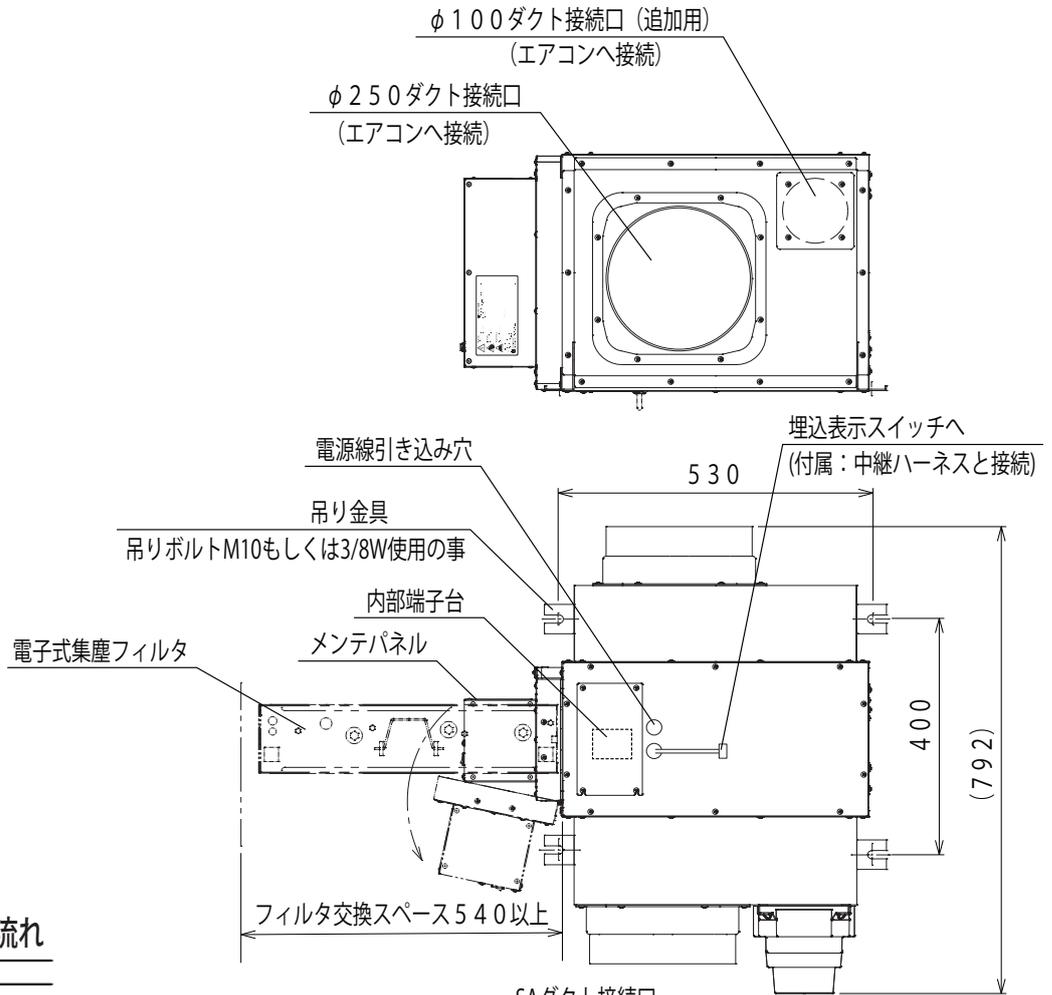
DCM-CB 梱包

部品の種類		個数
吸込みチャンバー 		1
排気チャンバー 		1
SA ダクトふさぎ板 ×1 	100 ダクト接続口 ×1 	M4 ネジ (長さ 10mm) × 28 

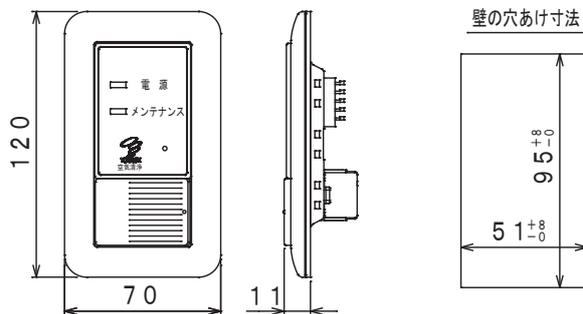
※本製品の据付に工事必要な吊りボルト・ナット・平座金または固定ネジ、電源コード、ダクト・ダクト接続部材等は工事業者手配になっています。

3 各部のなまえと寸法

電子式全館空気清浄ユニット
DCM113J



埋込表示スイッチ

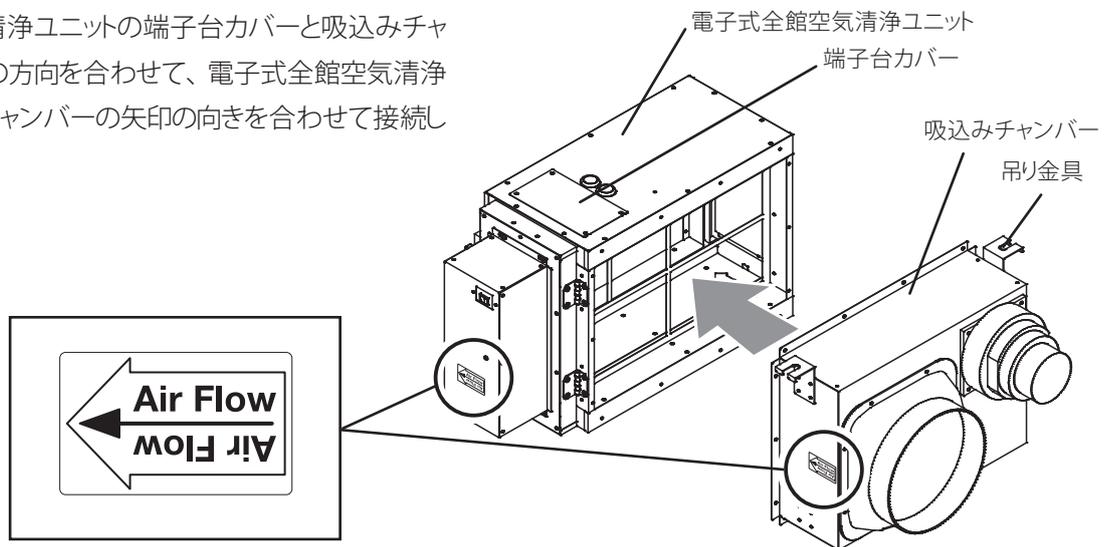


4 組み立て

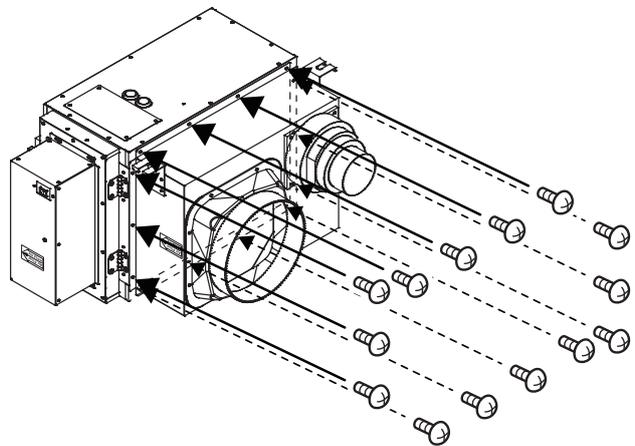
製品の据付前に組み立て作業が必要です。

1. 吸込みチャンバーの取り付け

1. 電子式全館空気清浄ユニットの端子台カバーと吸込みチャンバーの吊り金具の方向を合わせて、電子式全館空気清浄ユニットと吸込みチャンバーの矢印の向きを合わせて接続します。



2. 付属 M4 ネジで確実に 14 箇所を固定してください。



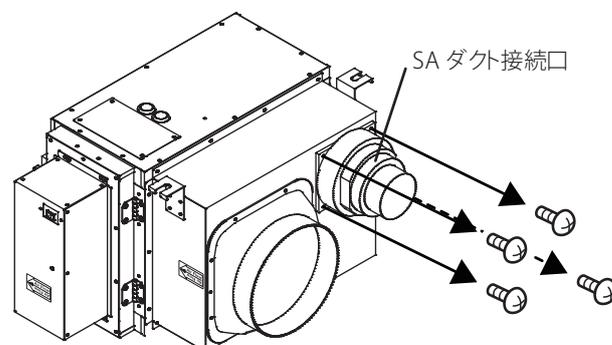
4. 組み立てのつづき

SA ダクト接続口をふさぐ場合

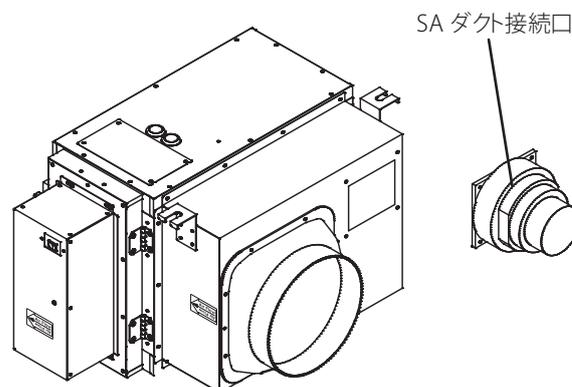
外気の入込口に全熱交換機を設置していない場合は、外気を直接、電子式全館空気清浄ユニットに接続しないでください。結露の原因になります。

全熱交換機を設置していない場合は、SA ダクト接続口を外して付属の SA ダクトふさぎ板にてふさぐ必要があります。

1. SA ダクト接続口を固定している M4 ネジを 4 箇所外してください。

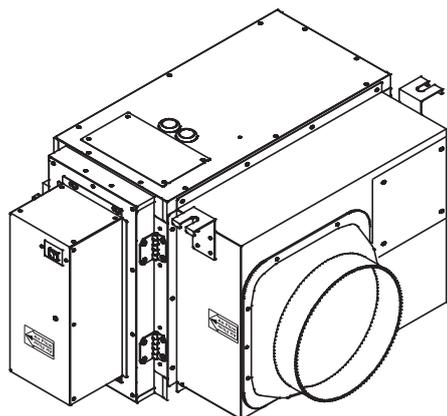
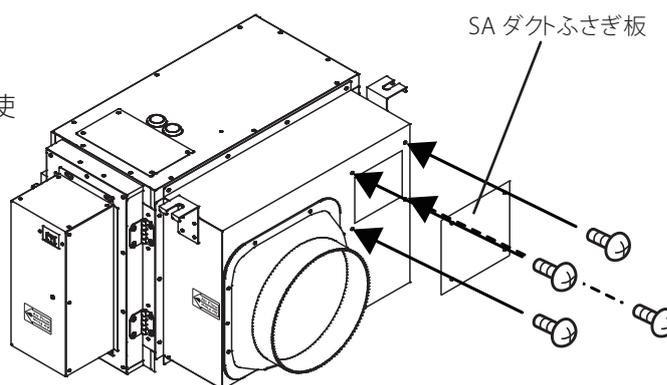


2. SA ダクト接続口を本体から外してください。



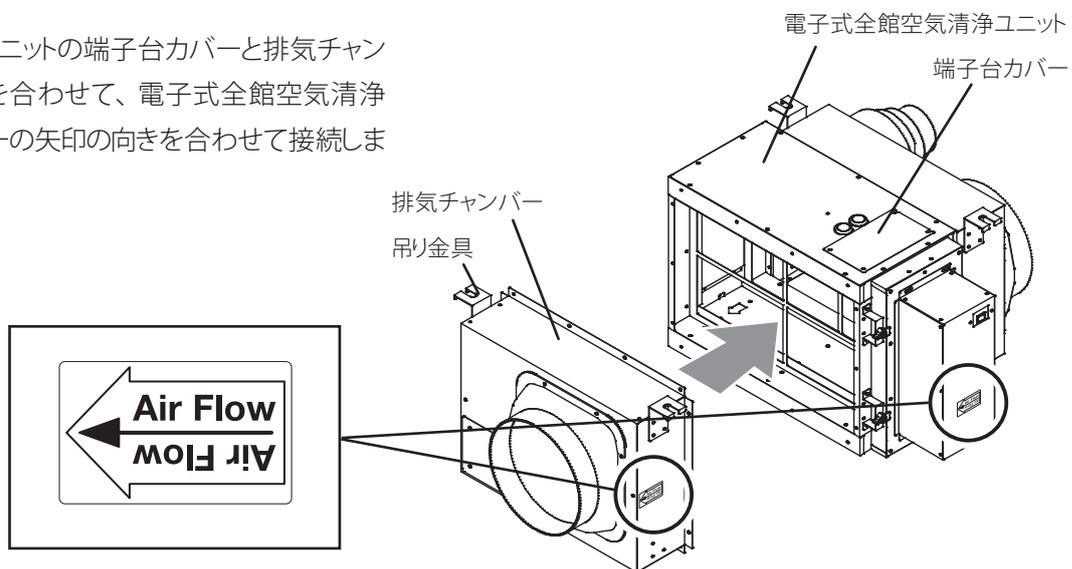
3. 付属の SA ダクトふさぎ板を SA ダクト接続口を外した M4 ネジで確実に 4 箇所を固定してください。

取り外した SA ダクト接続口は家のシステム変更により再使用する場合がありますので、お施主様にお渡しください。

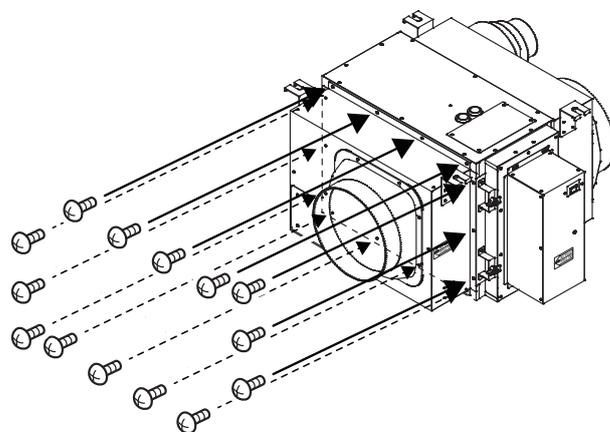


2. 排気チャンバーの取り付け

1. 電子式全館空気清浄ユニットの端子台カバーと排気チャンバーの吊り金具の方向を合わせて、電子式全館空気清浄ユニットと排気チャンバーの矢印の向きを合わせて接続します。



2. 付属 M4 ネジで確実に 14 箇所を固定してください。

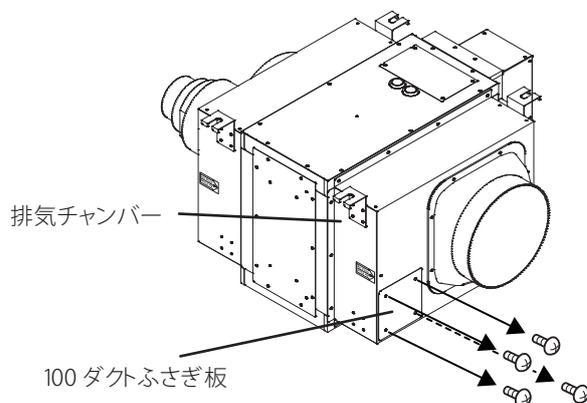


4. 組み立てのつづき

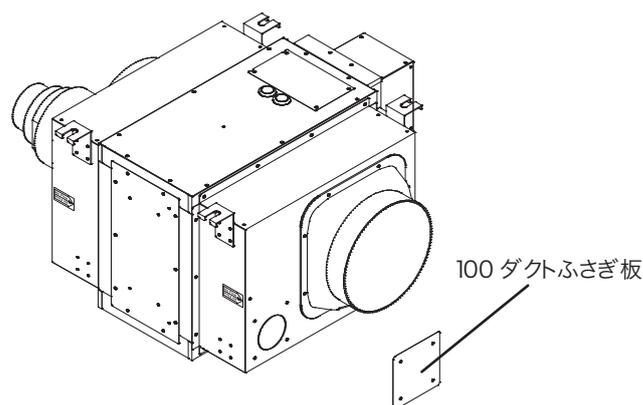
エアコンに接続するダクトがφ 250 とφ 100 の 2 本の場合

電子式全館空気清浄ユニットとエアコンの接続は標準ではφ 250 ダクト 1本ですが、エアコン側に追加でφ 100 のダクト接続口を準備している場合は排気チャンバーに付属の 100 ダクト接続口を取り付ける事によりφ 100 ダクトも接続する事が可能です。

1. 排気チャンバーの 100 ダクトふさぎ板を固定している M4 ネジを 4 箇所外してください。

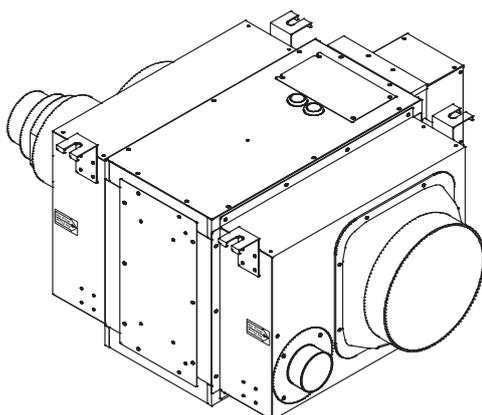
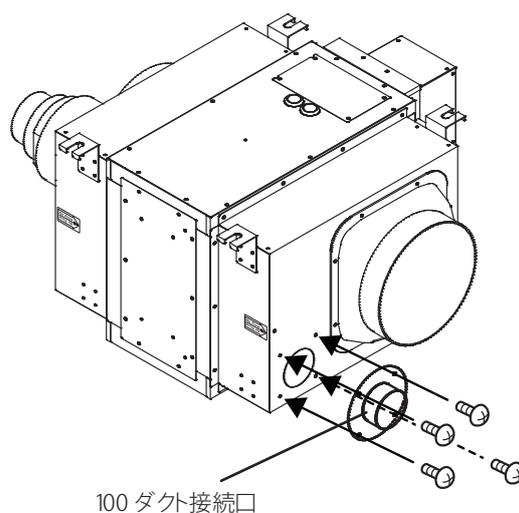


2. 100 ダクトふさぎ板を本体から外してください。



3. 付属の 100 ダクト接続口を 100 ダクトふさぎ板を外した M4 ネジで確実に 4 箇所を固定してください。

取り外した 100 ダクトふさぎ板は家のシステム変更により再使用する場合がありますので、お施主様にお渡しください。

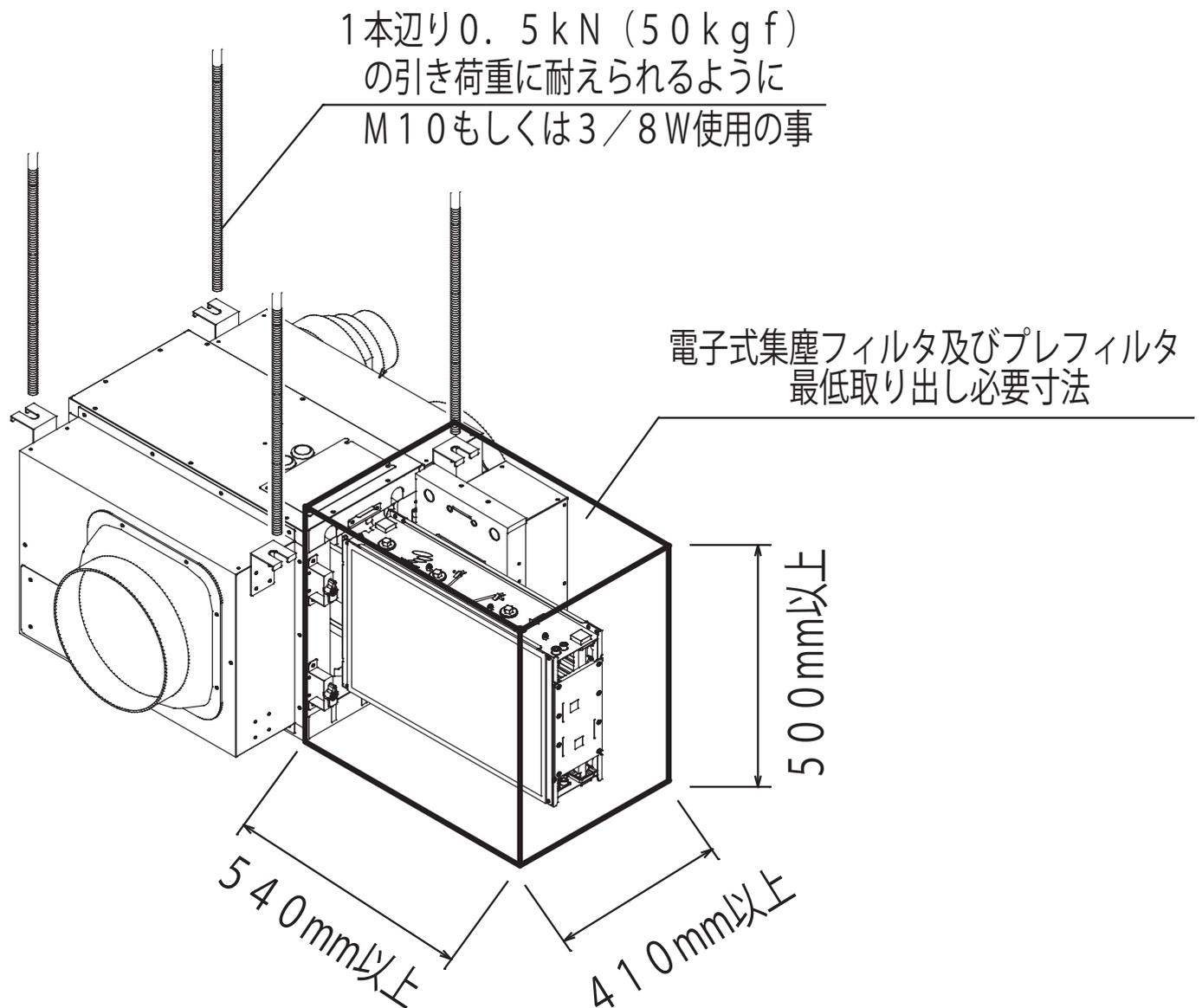


5 据付場所の確認

据付場所は、下記のような場所を選んでください

- 本製品の据え付けに、十分耐えられる強度のある場所。
- 吸込口や吹出口に障害物がない場所。
- 高周波を発生する機器や、精密機器がない場所。
- 下図のスペースが確保できる場所。

1. 電子式全館空気清浄ユニットの周囲には施工、点検、清掃のために下記の寸法以上の空間が必要です。
(下図の寸法が確保されませんと、施工、点検、清掃ができない場合があります。)



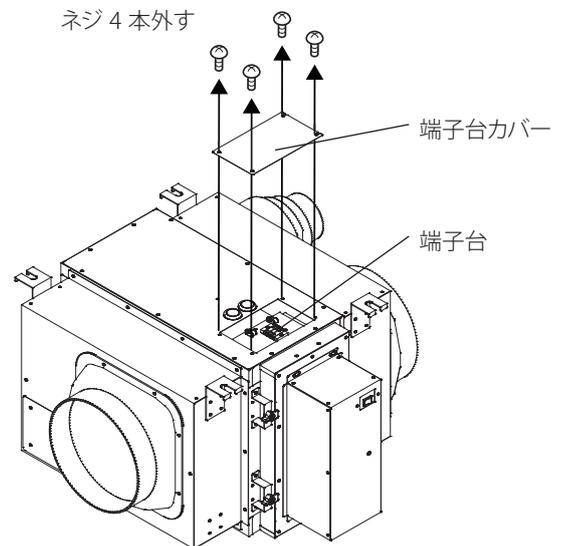
6 据付工事のしかた

警告

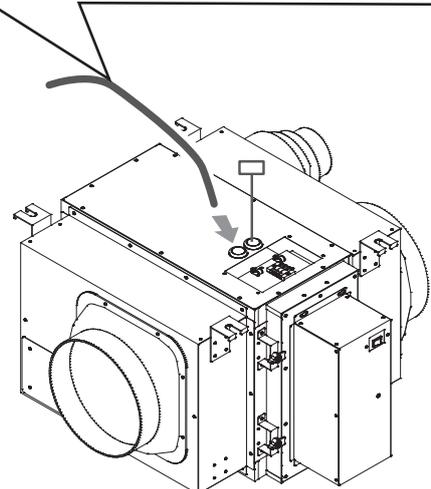
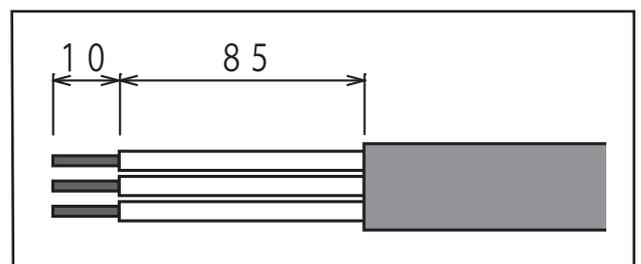
- 据付工事は、必ず二人以上で行ってください。
- 配線工事は、電気工事の資格のある方が行ってください。
- 据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。
- 配線工事前に、必ず電源を遮断してください。
- 電源の接続は、ブレーカーを通した単相 AC100V 50/60Hz の電源に接続してください。
- アースは、D 種接地工事を実施してください。
- 接続には、当社指定の電線を使用してください。

1. 電源コードの接続

1. 端子台カバーのネジを 4 本を外し、端子台カバーを取り外してください。

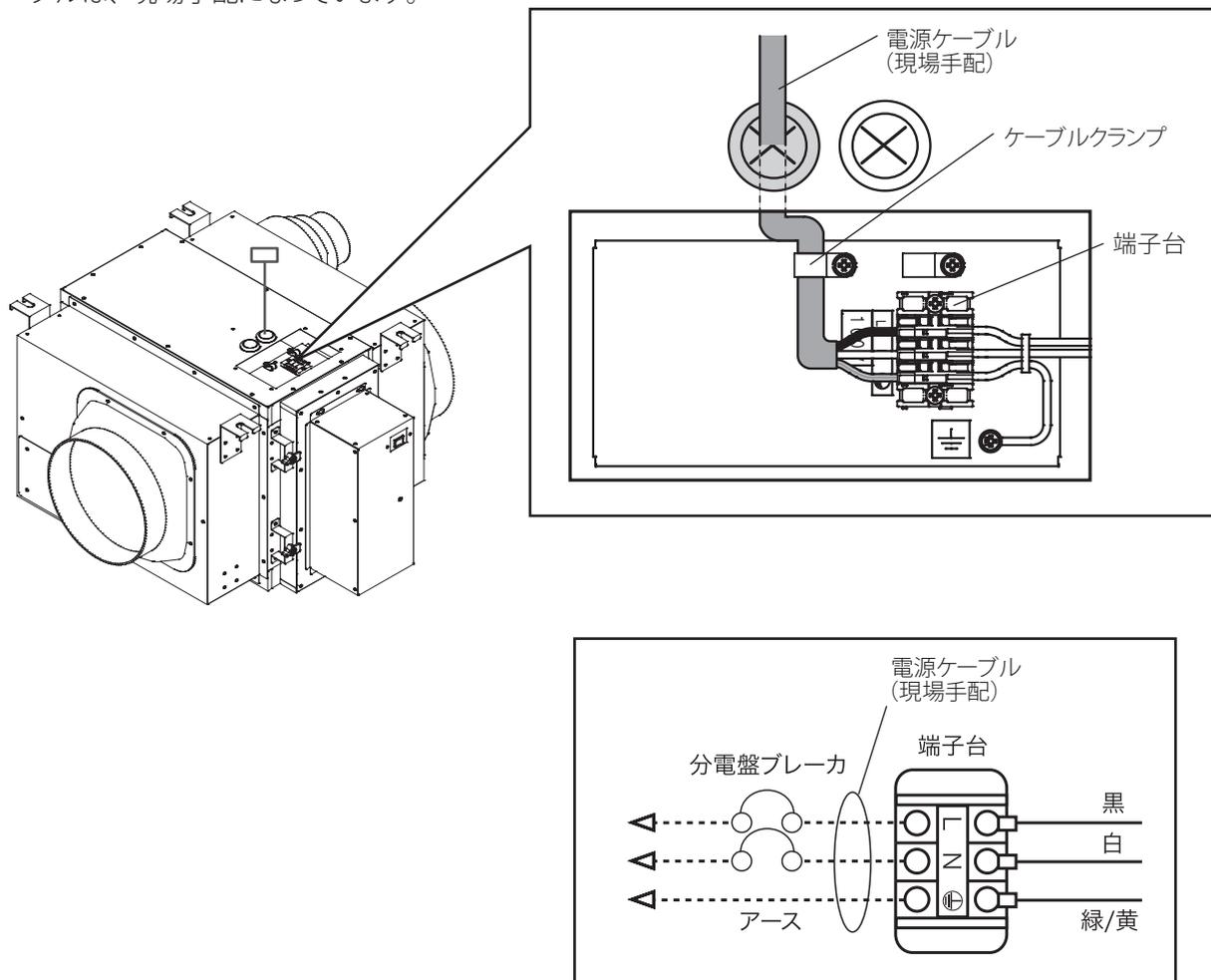


2. 電源ケーブル（現地手配）をグロメットに切り込みを入れてグロメットを通して端子台の近くまで引き込んでください。
電源ケーブルは VVF 1.6mm 3 芯を使用してください。
電源ケーブルの剥き寸法は右図を参考にしてください。



3. 電源ケーブルを、図のように端子台に接続してください。
端子台へ電源ケーブルを接続後、端子台横のケーブルクランプで
電源ケーブルを固定してください。

- 電源ケーブルの接続は、図を参考にして接続してください。
- 電源ケーブルは、現場手配になっています。



4. 結線が終わりましたら端子台カバーを取り外したネジ 4 本で元に戻してください。

⚠ 注意

端子台カバーは必ず元通りにネジ止め固定してください。 火災・漏電の原因になります。

電源は単相 AC100V ですのでご注意ください。 火災・感電・故障の原因になります。

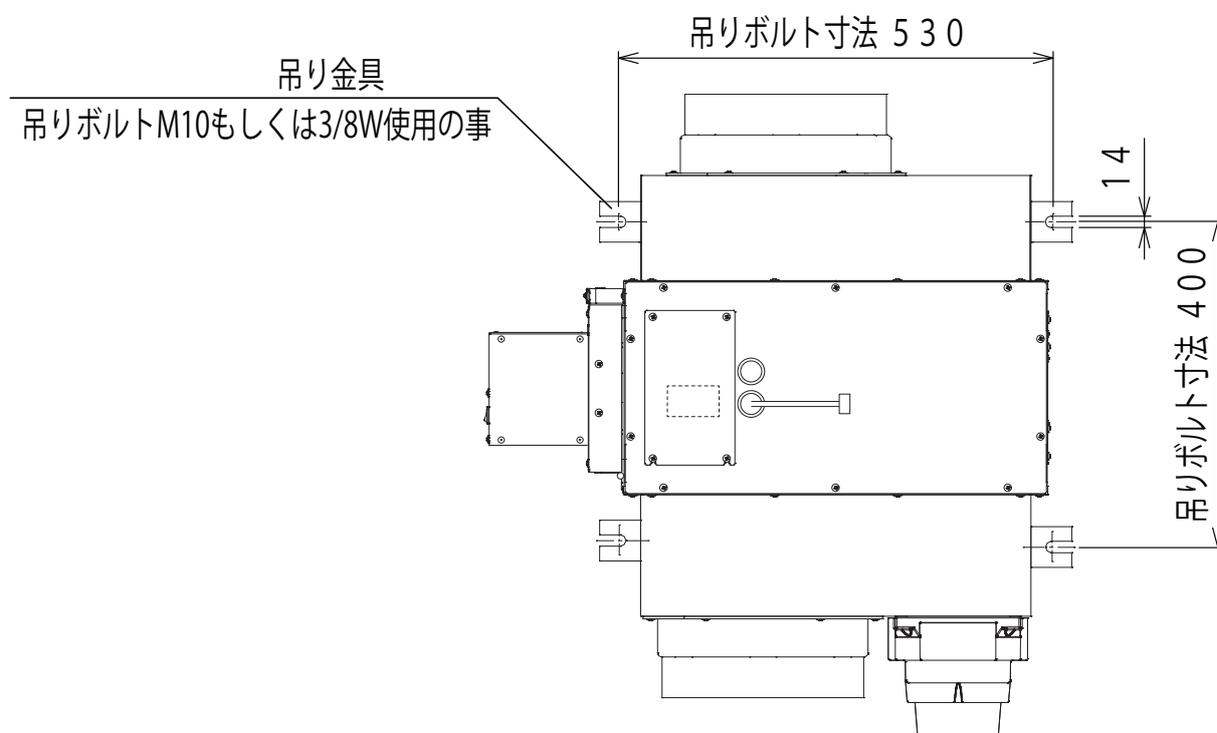
2. 上吊り設置の場合

1. 電子式全館空気清浄ユニットの吊り位置に合わせて吊りボルト (M10 もしくは W3/8) を 4 本設置してください。

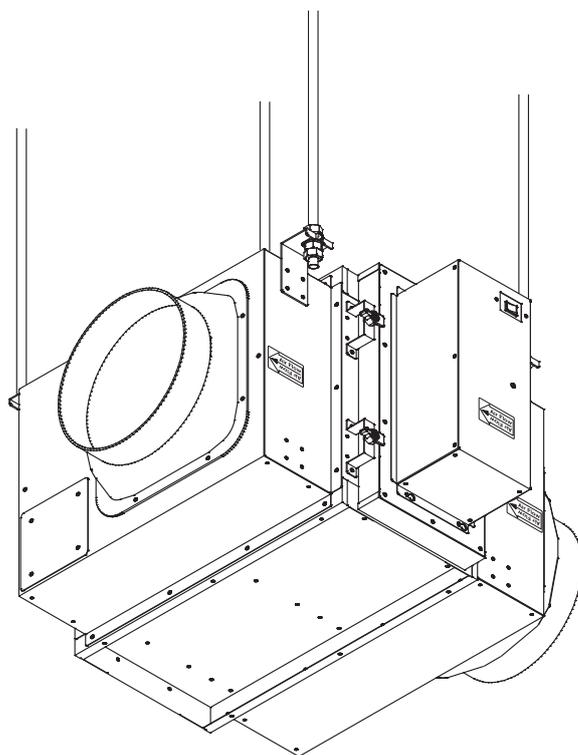
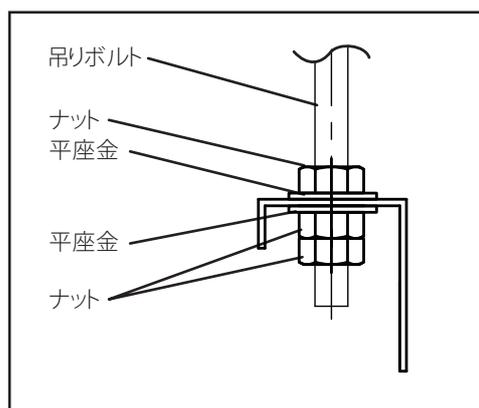
<据付工事上のご注意>

- 吊りボルト・ナット・平座金は、工事業者手配になっています。
- 吊りボルトは、1本当たり0.5kN (50kgf) の引き荷重に耐えられるように固定してください。
- 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
- 吊りボルトの長さが 900mm を超える場合は、さらに防振吊金具等による防振対策を施してください。

吊りボルト 設置位置



2. 吊りボルトの平座金の上に吊り金具を差し込み、ナット 2 個 (ダブルナット) を仮締めしてください。(4 本)



3. 本体の水平を確認しながら、ナットを締め付けて固定してください。

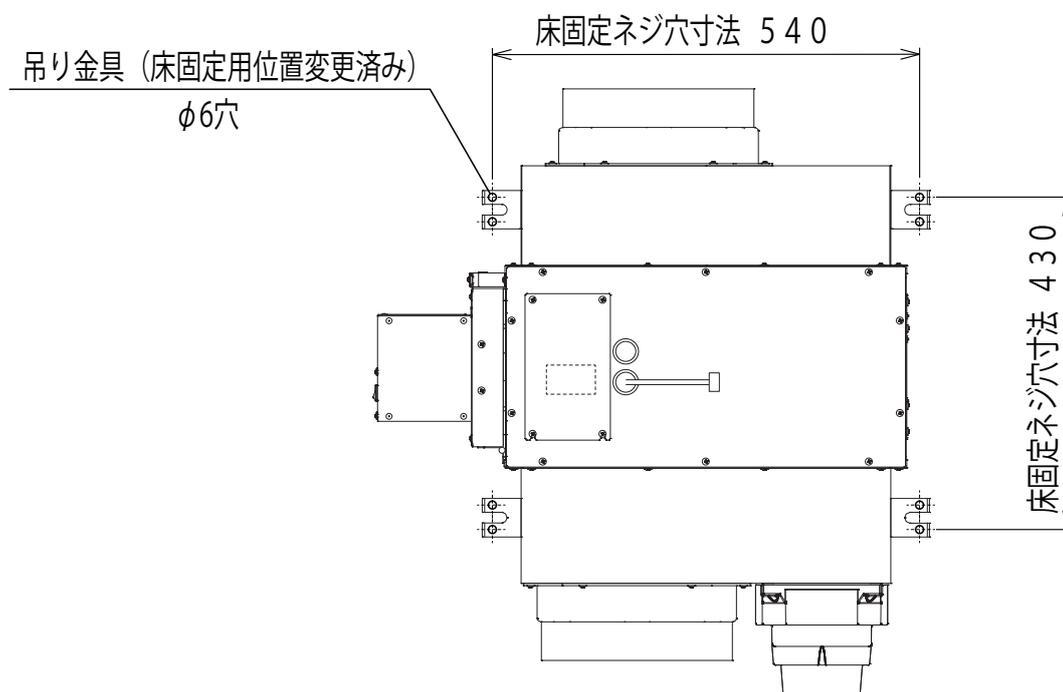
3. 床置き設置の場合

電子式全館空気清浄ユニットの固定位置に合わせてを 4 本設置してください。

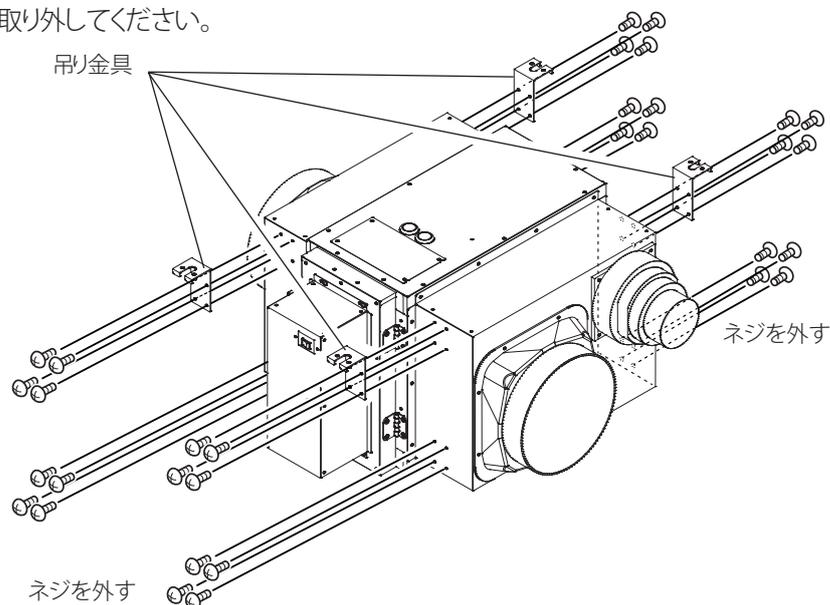
<据付工事上のご注意>

- 固定用ネジは、工事業者手配になっています。
- 本体の取り付け面は 20.0kg 以上の荷重に耐えられるようにしてください。

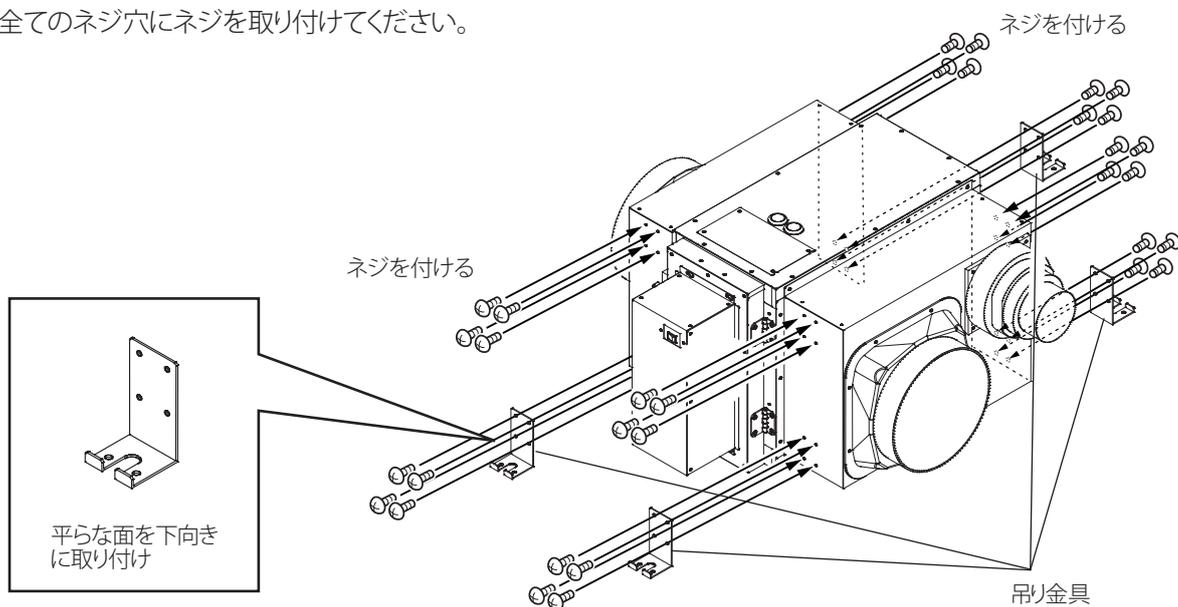
床固定用取り付け寸法



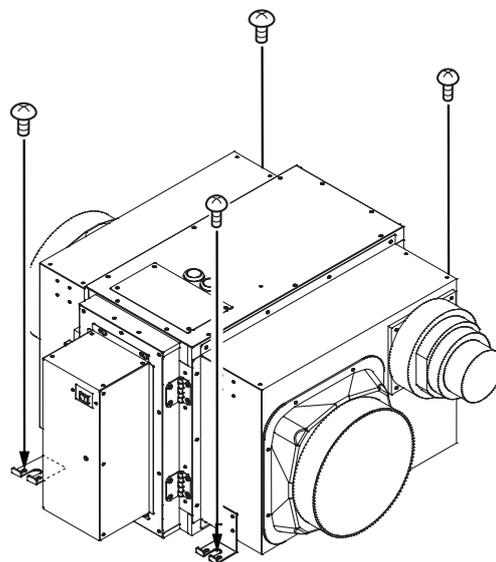
1. 床固定用に吊り金具の位置を変更します。
吊り金具 (4 個) を固定しているネジ (1ヶ所 4 本) を外して取り外してください。
あわせて吊り金具の下方向のネジ (16 本) を取り外してください。



2. 吊り金具の平らな面を下向きにして本体下方向の外したネジ穴に吊り金具を取り付けてください。
最初に吊り金具が付いていたネジ穴（16ヶ所）にはネジだけを取り付けてください。
※取り外した全てのネジ穴にネジを取り付けてください。



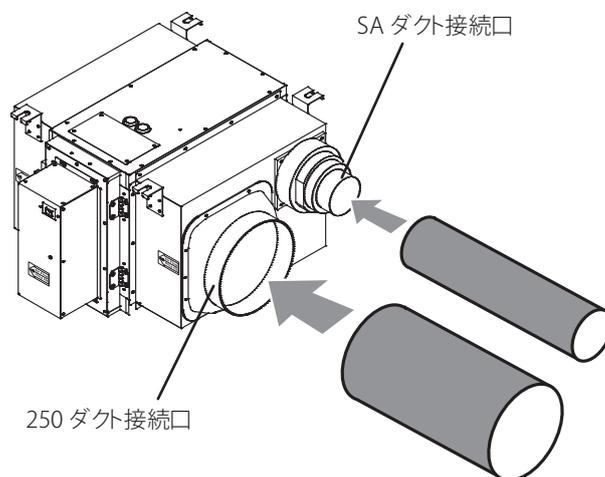
3. 吊り金具のφ6穴を使用して板材に合わせたネジ（4本）で本体を固定してください。



4. ダクトの接続

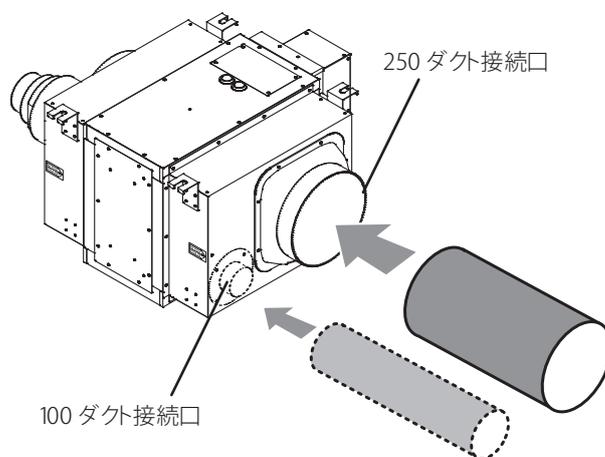
1. 空気清浄ユニットの吸込チャンバー側にダクトを接続してください。
SA ダクト接続口には全熱交換機からの給気ダクト (SA) を接続してください。(100、125、150 ダクト接続可能)
250 ダクト接続口には2階天井空間からのダクトを接続してください。(2階建ての場合)
(平屋の場合は1階天井空間からのダクトを接続してください。)

ダクトの接続はダクトテープなどで接続してください。
ダクトの接続箇所は必ず断熱してください。



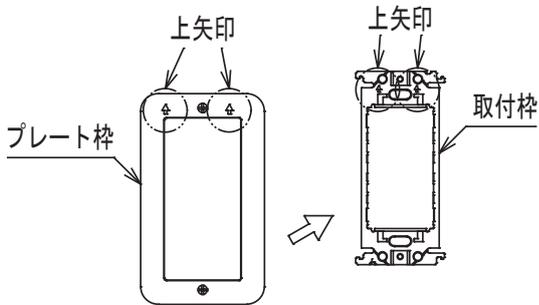
2. 空気清浄ユニットの排気チャンバー側にダクトを接続してください。
250 ダクト接続口にはエアコンと接続させるφ250 ダクトを接続してください。
付属の100 ダクト接続口が付けてある場合はエアコンと接続させるφ100 ダクトを接続してください。

ダクトの接続はダクトテープなどで接続してください。
ダクトの接続箇所は必ず断熱してください。

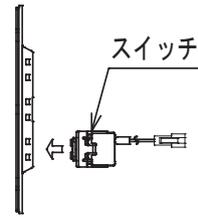


5. 埋込表示スイッチの施工と結線

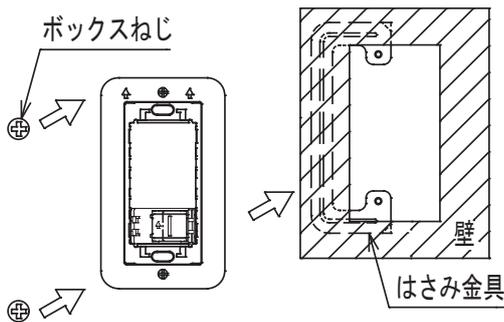
＜施工方法＞（以下の手順にしたがって施工してください）



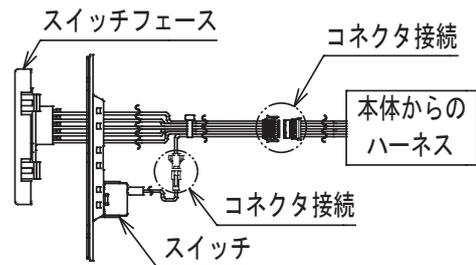
①スイッチプレートのねじの付いているプレート枠と取付枠をねじで固定します。その際、ふたつの部材の上矢印の方向を揃えてください。



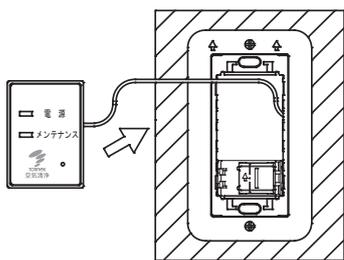
②スイッチを取り付け枠にはめ込みます。



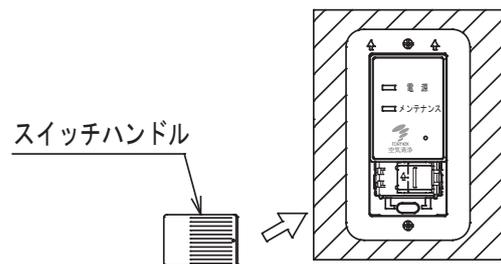
③取付枠とはさみ金具で壁を挟み上下2箇所をボックスねじで固定します。



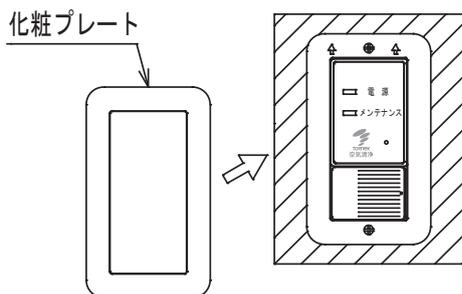
④スイッチフェースの2Pコネクタとスイッチのコネクタを接続し、スイッチフェースの7Pコネクタを取付枠の内側に通し、本体からの中継線のコネクタと接続します。



⑤スイッチフェースを取付枠にはめ込みます。



⑥スイッチハンドルをスイッチにはめ込みます。



⑦化粧プレートをプレート枠にはめ込みます。

お願い

結線終了後、電源を入れる前に再度、結線が間違っていないか確認してください。

7 試運転前の準備と試運転

警告

電子式集塵フィルタの確認および試運転の際は、下記のことにご注意ください。

火災・感電・けがのおそれがあります。

- ・取り外し・取り付けする前に、必ず主電源スイッチを切ってください。
- ・作業では手袋を着用してください。
- ・落下させないでください。落下によって変形した状態で、電子式集塵フィルタを本体に取り付けしないでください。

お願い

電子式集塵フィルタの（前面）イオン化線部分と（後面）金あみ部分は、持たないでください。

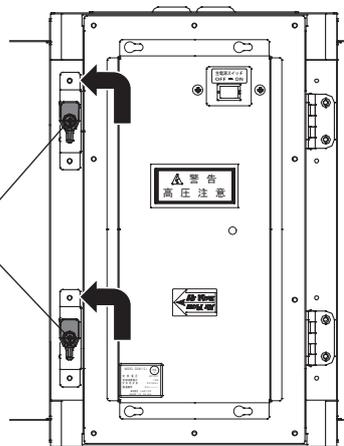
変形して故障するおそれがあります。

1. 電子式集塵フィルタの取り出し確認

定期的なメンテナンスが必要ですので、電子式集塵フィルタの取り出し確認をしてください。

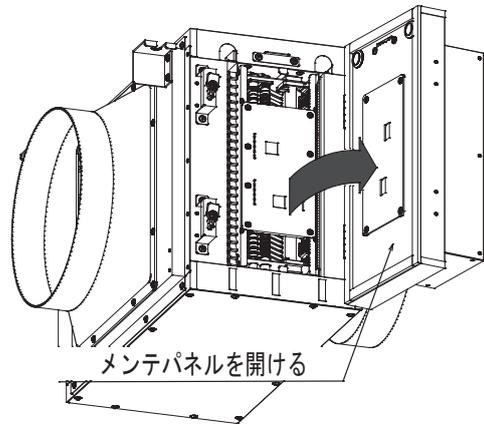
手順 1

パネルロックを回転させ
ロックを解除する



手順 2

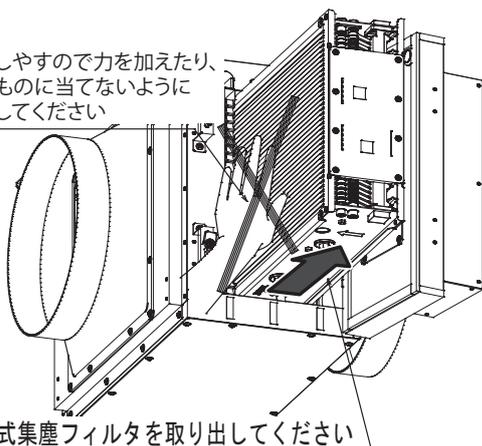
メンテパネルを開ける



手順 3

※変形しやすいので力を加えたり、
硬いものに当てないように
注意してください

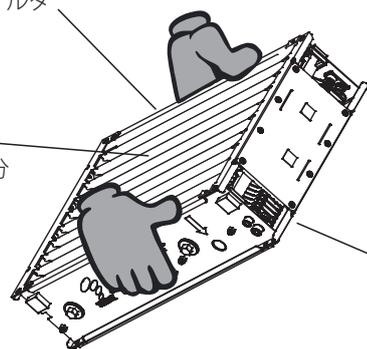
電子式集塵フィルタを取り出してください



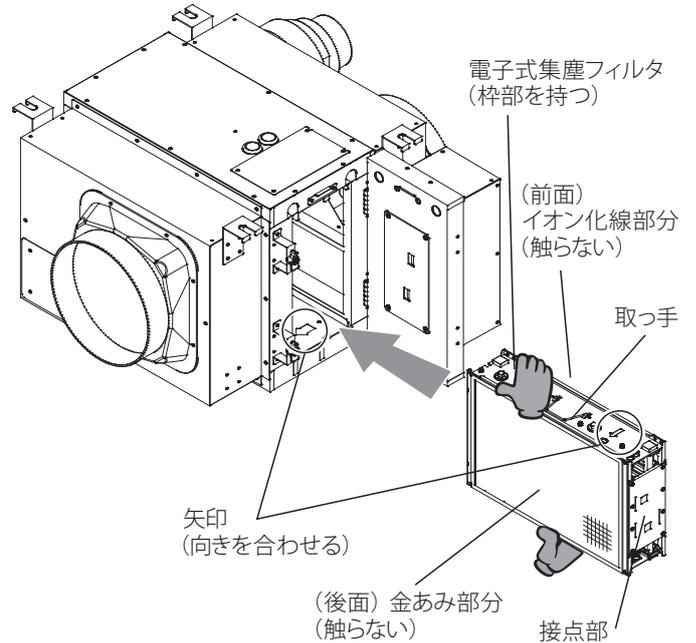
電子式集塵フィルタ
(枠部を持つ)

(前面)
イオン化線部分
(触らない)

(後面)
金あみ部分
(触らない)



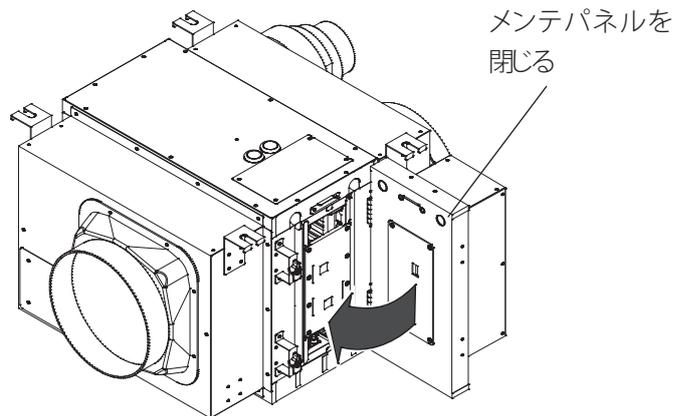
- 手順4** 電子式集塵フィルタが取り出しできる事が確認できましたら、電子式集塵フィルタの枠部や取っ手を持ち、本体にセットしてください。
電子式集塵フィルタの向きは接点部が手前側で枠部側面の矢印方向が本体の矢印と同じ向きになるようにセットしてください。



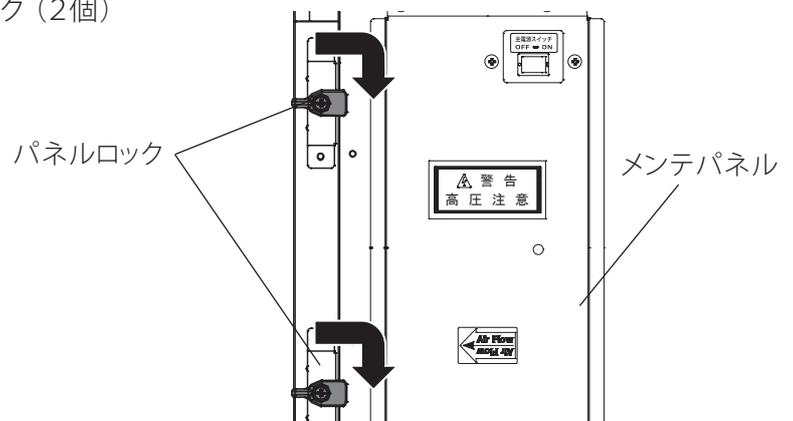
お願い

電子式集塵フィルタの(前面)イオン化線部分と(後面)金あみ部分は、持たないでください。変形して故障するおそれがあります。

- 手順5** 電子式集塵フィルタをセットしたら、メンテパネルを閉じます。



- 手順6** メンテパネルを抑えながらパネルロック(2個)をロックします。



お願い

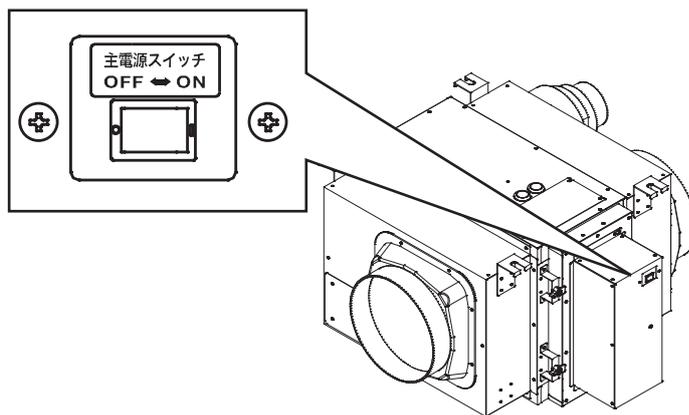
電子式集塵フィルタが正常に取り付けされていないと、メンテパネルがきちんと閉まりません。
メンテパネルがきちんと閉じてないと、パネルロックがロックできません。
きちんとロックできない場合は、再度、正常に取り付けされているかを確認してください。

2. 試運転

警告

試運転を行う際には、下記のことにご注意して行ってください。火災・感電のおそれがあります。メンテパネルが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていない場合には、電源を入れないでください。

1. 据付工事が確実に完了したことを確認してください。
2. メンテパネルが完全に閉まっていることを確認してください。
3. 電子式全館空気清浄ユニットの主電源スイッチを「ON」にしてください。
4. 主電源スイッチが緑色に点灯し、電子式全館空気清浄ユニットが運転待機状態になります。



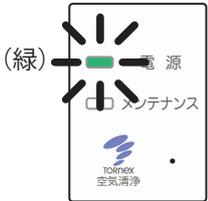
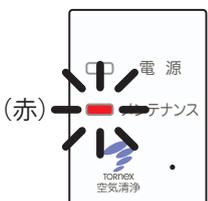
5. 埋込表示スイッチの入切スイッチを押してください。電源ランプの緑ランプが点灯し、電子式全館空気清浄ユニットが運転を開始します。
6. 電源ランプの緑ランプ点灯を確認したら試運転と作動確認終了です。

※ 緑ランプの点灯以外の表示の場合は 20 ページの「埋込表示スイッチのランプ表示の確認」を確認してください。



試運転と作動確認終了後、問題がない場合は直ぐに使用しない場合は、主電源スイッチを OFF にしてください。直ぐに使用する場合は、主電源スイッチを ON にしてください。

3. 埋込表示スイッチのランプ表示の確認

ランプ表示	状況	確認していただく箇所	処置のしかた
	緑ランプ点灯	正常運転中	異常ありません。
	赤ランプ点灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを、1回押すとすべてのランプが消え、もう一度押すと緑ランプが点灯してから消灯し、赤ランプだけ点灯した。	メンテパネルがきちんと閉じていません。 メンテパネルをきちんと閉じてください。 (18ページ)
	緑・赤ランプ消灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを何度押してもすべてのランプが消灯している。	分電盤ブレーカーがONになっているか、ご確認ください。 OFFになっていた場合はONにしてからもう一度埋込表示スイッチの入切スイッチをONにしてください。 電子式全館空気清浄ユニットの主電源スイッチがONになっているかご確認ください。 OFFになっていた場合はONにしてからもう一度埋込表示スイッチの入切スイッチをONにしてください。

※処置後は埋込表示スイッチの入切スイッチを一度OFFにしてからONにして緑ランプ点灯（正常運転中）になっている事を確認してください。

8 天井点検口の場合の取り付け寸法

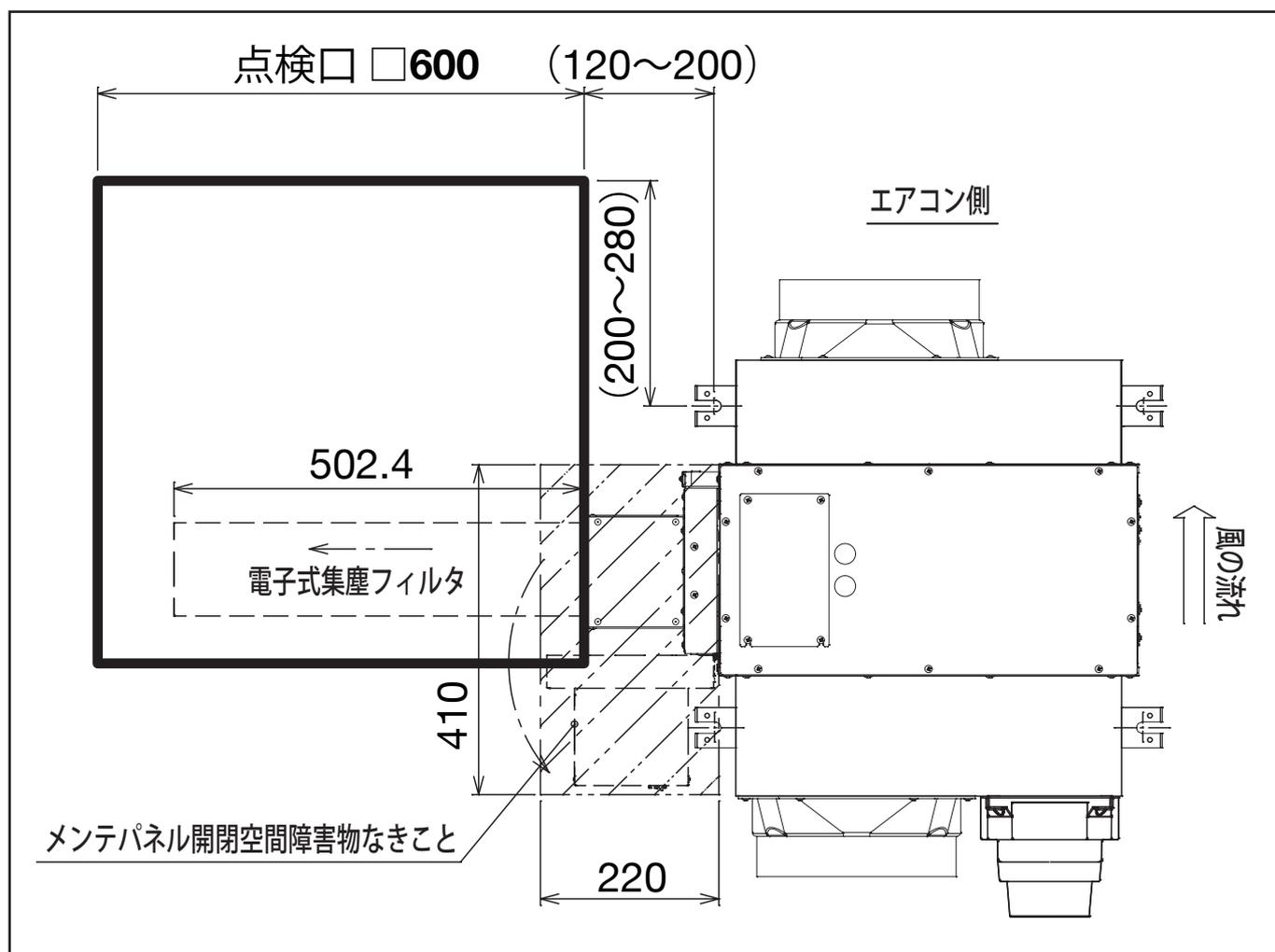
点検口設置位置

1. 点検口にてメンテナンスが必要な場合は、下図の位置に点検口を設けてください。
(下図寸法の点検口が設置されませんと、メンテナンス時、フィルタの交換ができなくなります。)

<点検口サイズ>

□600mm

点検口の配置図



上面図

⚠ 注意

- 点検口は□600mmを使用し、所定の位置に取り付けてください。

(点検口の位置ずれによりメンテナンスが行えず、やむをえず点検口を広げる追加工事が発生する場合があります。追加工事などにかかる費用等は施工業者様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。)

9 引き渡し

お客様に引き渡す際には、下記のことを必ず説明してください。

1. 同梱されている取扱説明書で、お客様に操作方法と安全上のご注意を説明してください。
2. 使用前にもう一度、取扱説明書を読んでいただくように説明してください。
3. 取扱説明書を、いつでも見られる所に、大切に保存するように説明してください。
4. 電子式全館空気清浄ユニットのメンテナンス用点検口の位置を説明してください。

MEMO

販売代理店

お問い合わせ先

室内空気環境
ソリューションカンパニー



株式会社トルネックスカスタマーサービス部
〒116-0003 東京都荒川区南千住 7-20-7



0120-926-186 ※フリーコールはIP 電話からのご利用いただけません
もしくは **03-3891-6781**

電話受付時間：9:00～17:30
※土日祝及び夏期休暇・年末年始を除く